



Photo by hokujitsukai 2022.3.30

北総線運賃と



これからのまちづくりを考える

シンポジウム

どなたでも参加できます。 参加費無料

5月21日 土

PM 13:30～16:00

白井市文化会館・中ホール

北総線「白井駅」北口から徒歩10分



シンポジウム実行委員会 TEL&FAX 047-492-4537

2022/4 〒270-1424 白井市堀込 2-1-5-704 間嶋方 mail: mashima5704@nifty.com

北総線運賃とシンポジウム

これからのまちづくりを考える

北総鉄道の運賃値下げの内容

(実施予定日 2022年10月1日)

今般、懸案であった累積損失解消を機に、ポストコロナにおける輸送動向や沿線の将来を展望し、また、利用者の声や沿線自治体のまちづくり施策との整合性などを総合的に勘案し、地域のインフラとして、利便性の向上や事業基盤の維持・向上に資するよう運賃改定を行うこととしたものです。

- (1) 通学定期運賃を大幅に値下げ (▲64.7%)
- (2) 北総線内の移動を促進する普通運賃の値下げ (初乗り運賃を210円から190円に引き下げ、中距離帯を重点に最大▲100円 ICカードは▲105円)
- (3) 値下げ率 定期外▲11.6%、通勤定期▲13.8%
通学定期▲64.7% 合計▲15.4%

(HOKUSO NEWS RELEASE より)

細川 幸一 先生

日本女子大学教授。立教大学、お茶の水女子大学兼任講師



日本の鉄道は旧日本国有鉄道を除き、民間企業が私鉄として地域の足を支えてきました。国は民間のやることには口も出さなければ、金も出さないというのが基本の立場です。

そうした中で千葉県、URの千葉ニュータウン構想の失敗のツケを沿線住民に高額運賃の形で押し付ける北総鉄道運賃問題が消費者問題として注目されてきました。その基本構造を探ります。

Program

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| ● 開会あいさつ | 実行委員長 |
| ● 沿線市長・来賓ご挨拶 | (要請中) |
| ● トーク 1
10月北総線値下げの意義 | 北実会 |
| ● トーク 2
鉄道と沿線のまちづくり | 大塚先生 |
| ● トーク 3
運賃は消費者問題、
その基本構造を探る | 細川先生 |
| ● トーク 4
運賃大幅値下げへの提言 | 北実会 |
| ● みんなで話そうタイム | |
| ● 閉会あいさつ | 実行委員長 |

大塚 良治 先生

江戸川大学准教授。明治大学専任講師、東京成徳大学非常勤講師



2022年10月、北総線運賃の値下げが実施されます。この値下げの目的は、長年の懸案だった累積損失が解消したことを機に、沿線のまちづくり等への整合性を取るため、とされます。しかし、そもそも鉄道に独立採算を求めるのは主要国では日本だけで、欧米では鉄道は公的インフラとして行政が支える考え方が主流です。本報告では、日本の鉄道制度の問題点を指摘し、よりよい北総沿線まちづくりを進めるための方策を考えます。

このシンポにはどなたでも参加できます。参加費無料